

1 全体評価（組織、業務運営等に係る改善事項等への記載事項）

- ①安定した財務環境を維持するため、入学定員の確保、外部の研究資金の獲得等による自己収入の確保に向けた取組を求める。
- ②大学設置基準及び大学院設置基準に定められた教員数の確保並びに事務職員の欠員解消や事務局組織体制の強化に向けた取組を求める。
- （③国際芸術センター青森について、PR強化による自己収入の確保及び積極的な活用を期待する。）

2 項目別評価への対応状況（該当箇所抜粋）

（1）経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

令和3年度 評価書の内容	<p>受験生確保に向けた積極的な取組による検定料の増加や、科学研究費補助金等の外部研究費の申請件数の増加など、自己収入の増加に努めた点については評価できる。</p> <p>引き続き、外部資金獲得の取組を継続するとともに、研究関連収入に関する目標値について、申請件数ではなく獲得件数に切り替えるよう<u>求める。</u></p>
① 業務運営等への 反映状況	<p>本学では、令和2年度に策定した「公立大学法人青森公立大学第3期中期計画（計画期間：令和3年4月1日～令和9年3月31日の6年間）」において、研究関連収入に関する目標値について、「過去2年間（令和元年度～令和2年度）の平均以上の申請を行う。」と目標設定しているところである。</p> <p>令和4年度計画では、科学研究費補助金等の外部研究費の獲得増に向けて、第3期中期計画で掲げた目標値に基づき、申請件数11件以上を目指し取り組むとともに、研究関連収入や寄附金など、外部資金獲得に向け、以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○科学研究費補助金等の外部研究費11件の申請、他大学を参考に支援の方策の継続検討</li> <li>○大学ホームページや大学案内パンフレットでの寄附のお願いの周知</li> <li>○施設・設備の貸出による収入増に向けた、大学内や市内公共施設へのパンフレット設置によるPRや個別利用者への情報提供</li> <li>○国際芸術センター青森の事業協力金（寄附金）のPRとして、ホームページ掲載や県内企業等へのチラシの訪問配付（29件）及び展覧会等開催案内への同封（5,761件）、展覧会時の募金箱の設置</li> </ul> <p>[令和4年度事業協力金収入状況]</p> <p>合計：260,526円</p> <p>内訳：年間事業協力金（8者） 67,000円</p> <p>少額事業協力金 193,526円</p>

（2）業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

令和3年度 評価書の内容	<p>大学設置基準及び大学院設置基準に定められた教員数を確保するための取組並びに事務職員の欠員解消や事務局組織体制の強化に向けた取組を<u>求める。</u></p>
② 業務運営等への 反映状況	<p>令和4年度計画では、大学設置基準及び大学院設置基準に定められた教員数を確保するため、不足している科目の教員公募を延べ6件実施し、教授2名、准教授1名、講師1名を確保した。</p> <p>一方で、事務職員の欠員解消や事務局組織体制の強化に向け、業務内容や業務分担等を検証するとともに、事務職員（プロパー職員）の欠員に対し、管理職の兼務や新規採用試験を実施し、欠員解消等に努めた。</p>